

令和元年度 事業報告

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

1. 新規・重点事業

(1) 地域課題の解決力強化の推進

○ 住民福祉活動の拠点支援の強化

ボランティアの交流や会議の場、こども食堂や学習支援、ひとり親の方同士が集える場などに活用できる常設型の拠点の整備を検討しました。併せて、住民主体の地域福祉活動の常設拠点への家賃補助を行いました。

- ・常設拠点 情報提供を受け、打診をするも契約に至らず
- ・家賃補助 1団体220,000円

○ ボランティアによる移動支援

移送ボランティアによる地域拠点（生活支援体制整備事業による拠点）や買い物などの外出支援などのために本会車両を活用した福祉運行を行いました。

- ・51回運行（328名利用）

○ コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置

(2) 生活支援体制整備事業の推進

○ 第2層の運営及び更なる推進のための支援

社協支部10のエリアにおいて、立ち上がった第2層協議体や拠点の継続や、支え合いの仕組みを創出するための支援や、活動の拡大を住民と共に行いました。

第2層協議体：7か所

- ・入間川茶べり場
- ・おたがいさま♡ふじみ
- ・いりそ支え合いたっち
- ・奥富地区支え合いネットワーク会議
- ・柏原「きのえね坂の家」
- ・まちの縁側推進プロジェクト水富
- ・みま〜も狭山台

○ 小地域福祉活動の人材育成

「ちょこっと見守りサポーター」の登録を増やし、地域のニーズに合った人材養成講座や市民フォーラムや講演会を開催し、生活支援の担い手とリーダーを養成しました。

- ・ちょこっと見守りサポーター登録人数 101名

○ 第1層協議体の運営

第1層協議体の運営を行い、第1層分科会等を活用した支え合いを生み出す仕組みを整備しました。

- ・第1層協議体定例会 5回開催
- ・有償福祉サービス団体連絡会 1回開催
- ・コミュニティサロン分科会 1回開催

○ 小地域福祉に係る社会資源の把握と開発

「令和元年度 生活支援体制整備事業 狭山市社会資源一覧(改訂)」を発行し、関係部署の窓口に付置しました。また、「地域資源管理サービスサイト」のデータベースを公開し、各地域包括支援センター及び居宅介護支援事業と、地域の住民主体の社会資源についての最新情報を共有し、活用できるようになりました。

○ 生活支援コーディネーターニュースの発行 4回発行(50,000部)

(3) CSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)の配置

○ CSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)の配置

支部社会福祉協議会担当職員11名をCSWとして兼務して配置しました。

○ 出張相談会の開催 22回開催(相談件数 68件)

5月から老人福祉センター3館での「福祉何でも相談会」を各館で月1回開催しました。また、老人福祉センター以外でも相談に対応しました。

○ 職員の相談スキルの向上のための連絡会議の開催 3回開催

(4) 全国校区・小地域福祉活動サミットの開催

地域福祉活動者の交流と学びの場である全国校区・小地域福祉活動サミットを狭山市において開催することで、狭山市内の地域福祉活動者を増やし、また、狭山市の地域福祉活動に関心を持ってもらうキッカケとし、その結果、地域福祉の推進を図りました。

《日程》1月25日(土)～26日(日)

《場所》狭山市市民会館 ほか

《参加者》954名

※ 登壇者・実行委員・企画運営委員・ボランティア・事務局等の関係者を含めて
1,242名

○ 実行委員会 2回開催

○ 企画運営委員会 3回開催

- チラシ、募集要項の作成、配付
 - のぼり、狭山市駅東西自由通路広告の作成
 - フェイスブックの更新、ケーブルテレビでの放送 など
- (5) 狭山市地域福祉推進計画及び支部地域福祉活動計画の推進
- 狭山市地域福祉推進市民会議の開催
 狭山市地域福祉推進計画に基づき、計画を進行管理する機関として「狭山市地域福祉推進市民会議」を設置しました。
 - ・地域福祉推進市民会議（計画推進のための狭山市と協働の会議） 3回開催
 - 平成30年度取組結果報告
 狭山市地域福祉推進計画の平成30年度取組状況報告（狭山市及び本会の取り組み）を本会のホームページに掲載しました。
 - 狭山市地域福祉推進市民会議検討会の開催
 外出支援サービス普及検討会 3回開催
 - 市民調査等の実施
 計画の進捗状況度を図るため2種類のアンケート調査を行いました。
 - ・市民アンケート調査 《回答率》40.6%
 - ・団体等アンケート調査 《回答率》68.1%
 - 支部地域福祉活動計画の推進
 支部社会福祉協議会が策定した支部地域福祉活動計画の推進を図るため、支部社会福祉協議会の活動を支援しました。
- (6) 遺贈に関する調査研究
- 地域で暮らした人が、最後に地域のためにお金を使う、人生最後の社会貢献である遺贈寄付について、近隣市社協との意見交換などを通じて、研究を行いました。
- ・遺贈寄付についての相談（問い合わせ） 1件
- (7) 社協活動の理解の促進及び機能強化
- 社協活動の理解の促進
 ポロシャツ、ジャンパーを作成しました。また、社協ホームページ、公式Facebookページを随時更新し、情報発信に努めました。

- 登録者への自動メール配信による情報発信
アドレス登録のある人に対し、イベント周知やボランティア募集など、多様な情報を自動メール配信にてタイムリーに届けました。
 - ・登録件数 113件（配信回数 12回）

- 事務事業評価の導入
一部事業で事務事業評価をし、事業の見直しをしました。

2. 会の運営

(1) 理事会 4回開催

第1回理事会 6月7日

- 議案第 1号 新規事業（埼玉県証紙販売事業）の開始について
- 議案第 2号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 議案第 3号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議案第 4号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について
- 議案第 5号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会顕彰規程の一部改正について
- 議案第 6号 平成30年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第 7号 平成30年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について
- 議案第 8号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員候補者（案）について
- 議案第 9号 令和元年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
- 議案第10号 令和元年度定時評議員会の開催について

第2回理事会 7月29日

- 議案第11号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会会長の選定について
- 議案第12号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会副会長の選定について
- 議案第13号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会常務理事の選定について

第3回理事会 10月30日

- 議案第14号 新令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会顕彰対象者（案）について

第4回理事会 3月16日【新型コロナウイルス感染症の影響で書面会議】

議案第15号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について

議案第16号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会公印規程の一部改正について

議案第17号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会補正予算（案）
について

議案第18号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画（案）
について

議案第19号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算（案）
について

議案第20号 令和元年度第2回評議員会の開催について

(2) 監査会 2回開催

第1回監査会 5月27日

議案 平成30年度会計決算監査について

第2回監査会 11月12日

議案 令和元年度中間監査について

(3) 評議員会 2回開催

定時評議員会 6月27日

議案第1号 新規事業の開始について

議案第2号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会定款の一部改正について

議案第3号 平成30年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告
について

議案第4号 平成30年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定
について

議案第5号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員を選任について

第2回評議員会 3月25日【新型コロナウイルス感染症の影響で書面会議】

議案第6号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会補正予算（案）
について

議案第7号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画（案）
について

議案第8号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算（案）
について

(4) 正副支部長会議 3回開催

第1回正副支部長会議 6月14日

1. 令和元年度会員募集及び協力について
2. 平成30年度狭山市社会福祉協議会事業報告について
3. 平成31年(令和元年)度狭山市社会福祉協議会の主な新規事業・重点事業について
4. 支部地域福祉活動計画の平成30年度評価について
5. 生活支援体制整備事業の第2層づくり等の進捗状況について
6. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練について
7. 食事サービスにかかわる衛生管理の対応について
8. 在宅福祉サービス研修会(衛生講習会)について
9. 敬老会について
10. 第40回社会福祉大会について
11. 地域わくわく事業について
12. 地域福祉活動スタートアップ助成事業について
13. 在宅福祉サービス事業交付金について
14. 第13回全国校区・小地域福祉活動サミットINさやまについて

第2回正副支部長会議 11月22日

1. 地域福祉推進計画平成30年度取組結果について
2. 支部地域福祉活動計画の平成30年度評価について
3. 次期地域福祉推進計画について
4. 生活支援体制整備事業の第2層づくり等の進捗状況について
5. 第40回社会福祉大会について
6. 在宅福祉サービス事業交付金について
7. 第13回全国校区・小地域福祉活動サミットINさやまについて

第3回正副支部長会議 3月26日【新型コロナウイルス感染症の影響で書面会議】

1. 第13回全国校区・小地域福祉活動サミットINさやまについて
2. 令和元年度地域ふくし支援金(会員会費)及び寄付金(会費端数分)の実績額について
3. 令和2年度事業計画について
4. 生活支援体制整備事業 第2層協議体の進捗状況について
5. ボランティア活動保険等について
6. 各支部総会について

3. 委員会の運営

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 評議員選任・解任委員会 | 1回開催 |
| (2) 広報委員会 | 開催せず |
| (3) 在宅福祉サービス推進委員会 | 開催せず |
| (4) 助成金交付事業審査委員会 | 2回開催 |
| (5) 手話通訳者派遣事業運営委員会 | 2回開催 |
| (6) 援護資金貸付審査委員会 | 開催せず |
| (7) ボランティアセンター運営委員会 | 1回開催 |
| (8) ささえあい狭山運営委員会 | 4回開催 |
| (9) さやま成年後見センター運営委員会 | 4回開催 |

4. 財源の確保

- (1) 社協会員の加入促進 8,313件 6,144,500円
○既存会員の会費納入及び新規会員の加入募集
- (2) ささえあい狭山会員の加入促進 422件 844,000円
- (3) 社会福祉活動基金の運用
国債等で運用を図りました。
受取利息配当金収入 2,800,000円
- (4) 赤い羽根共同募金 7,317,240円
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力
- (5) 歳末たすけあい募金 5,366,849円
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力
- (6) 社協だより「ふれあい」へ広告掲載
有料広告の掲載 9件
- (7) 寄付金
寄付金収入 1,448,005円

5. 事務局体制・機能の強化

業務運営会議、職員任用委員会、勤務評定を実施するとともに、研修への積極的な参加を図り、人材育成・交流・適正配置に努めました。

(1) 研修 85回

埼玉県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等による研修に積極的に参加することで、本会職員としてのスキルアップを図りました。

○ 参加した主な研修

人事労務管理研修、市町村社協常務理事・事務局長及び地域福祉推進担当課長会議、会計研修、生活支援コーディネーター現任研修、成年後見セミナー など

(2) 内部研修 1回

新人職員向け研修 1回 2名参加

(3) 事務局機能の強化

主査以上による定例ミーティングを開催するようにしました。《開催回数》33回

(4) 人事考課の実施 2回実施

(5) 職員の自己申告制度の実施 1月実施

6. 調査研究

(1) 有効な情報発信にかかる調査研究

LINE活用による多世代への情報発信について先行している社協へのヒアリングを行い、次年度から運用できるように検討をしました。

7. 連絡調整

関係機関との連携の充実・強化を図りました。

(1) 狭山市自治会連合会・狭山市民生委員児童委員協議会・市役所職員との連携

会員会費、共同募金（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の協力を依頼し、実施しました。

また、民生委員・児童委員協議会の活動に対する補助金を交付し、地域福祉活動の支援を行ったほか、意見交換会などにも参加しました。

(2) 狭山市介護保険事業者協議会への参加

狭山市介護保険サービス事業者協議会に参加、介護保険関連情報の把握や介護保険事業所との連携を図り、介護保険事業の円滑な運営を行うとともに、介護サービスの質の向上に努めました。

(3) 狭山市自立支援協議会への参加

狭山市自立支援協議会の代表者会議や実務者会議、ホームヘルプサービス部会に参加し、障害者福祉サービスに関する関係機関・事業所との連携を図り、障害者福祉サービスの質の向上に努めました。

(4) 入間川・入間川東地区、入曽地区、水野地区、富士見・中央地区、狭山台地区、堀兼・奥富・新狭山地区、柏原・水富地区地域包括支援センター主催による日常生活圏域会議への参加をしました。

(5) 協働委員会、青少年を育てる市民会議、障害者福祉プラン懇談会、障害者差別解消支援地域協議会、子育て支援ネットワーク会議など狭山市の主催する会議への参加をしました。

(6) 社会福祉法人連絡会に関する意見交換会等の開催

社会福祉法人連絡会研修会については、3月の実施に向けて調整をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。

8. 普及宣伝

(1) 広報委員会 委員会の見直しのため、開催せず

(2) 社協だより「ふれあい」の発行

年4回(4月・7月・10月・1月)発行 各回56,900部

(3) ふれあいこころちゃん放送 6回(5月・7月・9月・10月・11月・12月)

(4) 諸事業の広報用印刷物発行

(5) ホームページの更新 100回(アクセス数18,886件)

(6) フェイスブックの更新 95回(ページフォロワー数 166人)

(7) ガイドブック 1,000部作成

(8) YouTube の開設

9. 支部社協への支援

(1) 正副支部長会議を通して市社協と支部社協の連携

(2) 支部社協の諸事業に協力・援助(活動費交付等)

- (3) 支部社協在宅福祉サービス推進事業に協力・援助
 - ・在宅福祉サービス事業交付金を10支部に交付
 - ・支部社協地域福祉活動計画推進への協力
 - ・支部活動に関連する情報提供
 - ・年2回、給食サービス実施の支部社協に対する検便の実施
- (4) 生活支援体制整備事業等を通してのコミュニティづくりの推進のための連携

10. 在宅福祉サービスの推進

- (1) 市社協における推進
 - 在宅福祉サービス推進委員会 委員会の見直し中のため、開催せず
 - 研修会 1回
 - 《開催日》 7月5日(金)
 - 《内容》 衛生講習会
 - 《参加者》 48名
- (2) 支部社協における推進
 - 支部在宅福祉サービス推進委員会
 - 孤立予防・安否確認のための給食サービス、友愛訪問、茶話会、ふれあいサロンの実施、支部だよりの発行
 - 支部社協地域福祉活動計画の推進及び評価
- (3) 見守り事業
 - ちょっこっと見守りサポーター登録人数 101名

11. 福祉教育

- (1) 福祉体験教室の実施
 - 車椅子・ガイドヘルプ・高齢者擬似体験・障害者等の講話・昔遊び体験、点字体験の指導や小学生・中学生向けの認知症サポーター養成講座(キッズ講座)、あいサポート出前講座を小学校・中学校等で実施しました。
 - 《件数》 34件
 - (小学校 23件、中学校 9件、一般企業 2件)
 - 《対象者数》 3,209名
 - ※ 小学校でのキッズあいサポーター講座という新規メニューを開拓しました。

(2) 福祉教育サポーター養成講座

《開催日》 8月23日(金)

《会場》 社会福祉会館 大会議室

《内容》 ①講話

②擬似体験「車椅子体験・ガイドヘルプ体験・高齢者擬似体験」

③意見交換

《参加者》 3名

12. 高齢者福祉

(1) 敬老事業(市からの受託事業)

富士見、新狭山地区は支部で実施、奥富地区は地区を5か所に分けて実施その他の地区は、自治会・施設で実施(75歳以上対象)125か所で開催

地区	開催日	招待者数	出席者数	出席率
入間川東	9月15日～10月20日	1,699名	405名	23.8%
入間川	9月14日～11月4日	1,258名	479名	38.1%
富士見	9月11日～9月16日	2,684名	434名	16.2%
入曽	9月7日～9月30日	6,340名	3,754名	59.2%
堀兼	9月8日～9月16日	2,135名	793名	37.1%
奥富	9月1日～9月16日	813名	398名	49.0%
柏原	9月4日～9月16日	1,998名	611名	30.6%
水富	8月28日～10月13日	2,991名	1,191名	39.8%
新狭山	9月7日	472名	95名	20.1%
狭山台	9月13日～10月27日	2,578名	1,279名	49.6%
計		22,968名	9,439名	41.1%

※ 出席者数は施設入所、友愛訪問も含む

13. 障害者福祉

(1) 障害者団体等への協力援助 6件 688,000円

障害者団体の活動や事業に対する助成を行いました。

(2) 助成金交付事業審査委員会 2回

6月20日 1. 委員長・副委員長の選任について

2. 令和元年度さやま福祉活動応援助成金の審査について

(プレゼンテーション 6団体)

- 9月25日 1. 民間保育施設成金の審査について（書類審査 3団体）
- 2. 歳末地域福祉支援事業助成金の審査について（書類審査 2団体）

(3) 全身性障害者通学等介護人派遣事業（市からの受託事業）

高校・大学へ通う全身性障害者の方を対象とし、全般的な介助を行うため、介護人を派遣しました。

《対象者》 1名

《派遣時間》 240時間

(4) 手話通訳者派遣事業（市からの受託事業）

社会参加の促進を図るため、聴覚障害者の方を対象に手話通訳（情報保障）によって、手話通訳者を派遣しました。

《派遣件数》 616件

《派遣人数》 711名

○ 手話通訳者派遣事業運営委員会（2回）

- 7月 5日 1. 委員長の選任
- 2. 平成30年度狭山市手話通訳者派遣事業報告について
- 3. 研修会「聴覚障害者について」
- 2月 3日 1. 副委員長の選任
- 2. 令和2年度狭山市手話通訳者派遣事業計画について
- 3. 狭山市手話講習会講師について

○ 登録手話通訳者研修会

《回数》 3回

《参加者》 延べ10名

○ 手話通訳者派遣事務所だより『手輪』

年4回（4月・7月・11月・1月）発行 各回1,000部

○ 頸肩腕症候群健診の受診

《回数》 1回

《参加者》 6名

○ 聴覚障害者の集い（独自事業）

《回数》 3回

《参加者》 延べ35名

(5) ハンディキャブの貸出・運行

障害により外出が困難な人が積極的に社会参加できるよう、移送サービス等を行いました。

○ ハンディキャブの貸出

車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを貸出しました。

《利用件数》 延べ87件

○ ハンディキャブの貸出・運行（市からの受託事業）

車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを運行・貸出しました。

運行：《利用者数》 42名

《利用件数》 延べ1,198件

(6) 居宅介護事業（ホームヘルパーの派遣）

○ 居宅介護 《利用件数》 延べ3,868件

《利用時間》 3,986時間

○ 移動支援 《利用件数》 延べ291件

《利用時間》 362時間

○ 同行援護 《利用件数》 延べ98件

《利用時間》 991時間

(7) 指定特定相談支援事業

○ 障害者相談利用者数 68件

○ 障害児相談利用件数 19件

14. 児童福祉・母子（父子）福祉

(1) ふれあい里親運動

県内の児童福祉施設で生活する児童を、家庭に招き交流や生活経験の機会を提供しました。

○ 夏期里親運動 2世帯参加

○ 正月里親運動 2世帯参加

(2) ファミリー・サポート・センターの運営（市からの受託事業）

子育てをお手伝いしてほしい方（預ける会員）と子育てをお手伝いできる方（預かる会員）が相互に会員になり、子育てを支援する環境の整備をしました。

- 会員同士の需給調整等
 - 《会員数》 929名
(預ける会員 741名 預かる会員 131名 両方会員 57名)
 - 《活動回数》 3,083回
 - 《活動時間》 3,394時間

 - 《病児、病後児預かり登録》 87名
(利用会員 68名 預かる会員 19名)
 - 《病児、病後児預かり活動回数》 0回
 - 《病児、病後児預かり活動時間》 0時間

- サブ・リーダー会議 10回
- 入会説明会 《回数》 15回 《参加者》 59名
- 研修会 《回数》 19回 《参加者》 135名
- 交流会
 - ① 全体交流会
 - 《内容》 おうちパン作り、パネルシアター
 - 《開催日》 7月6日(土)
 - 《会場》 市民交流センター第1ホール、調理室
 - 《参加者》 37名

 - ② 預かる会員連絡会(ふぁみカフェ)
 - 《内容》 センターから情報提供 懇親会
 - 《会場》 社会福祉会館 大会議室(第1回、第2回)
 - 《参加者》 延べ25名
- ふぁみさぼだよりの発行
年3回(5月・8月・1月)発行 合計発行部数2,900部

- (3) 産前・産後ヘルパー派遣事業(市からの受託事業)
妊娠中または、出産直後の方が、安心して子育てができるように、産前・産後ヘルパーが家庭を訪問し、家事のお手伝い、育児相談を実施しました。
- 需給調整等
 - 《利用者》 延べ22名
 - 《派遣回数》 68回
 - 《派遣時間》 153.5時間

- 産前・産後ヘルパー研修会 《回数》 1回 《参加者》 1名
- マタニティースクール参加 1名

(4) 狭山市養育支援訪問事業（市からの受託事業）

保護者の養育を必要とされる児童のために、その養育が適切に行なわれるよう、当該要支援児童等の居宅において、養育に関する相談、指導、助言や家事の援助を行いました。

《利用件数》 4件
 《利用時間》 59時間

(5) 子ども食堂への支援

地域での子育てを推進するため、子ども食堂を実施する団体への支援や、子ども食堂の普及啓発を行いました。

- 子ども食堂への助成 5団体 420,000円
- 子ども食堂マップの作成、配布 1,000部
- 子ども食堂のネットワークとの連携
- 子ども食堂に関する運営相談
- 子ども食堂緊急対応事業（臨時）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校に際し、食の確保の必要な、子ども食堂に関わる児童生徒に対し、市内飲食店の弁当を、ボランティアが子ども食堂拠点を通じ配付するための助成金を交付しました。

《交付団体》 7団体
 《配食期間》 3月9日～3月31日（土日祝を除く）計16日間
 《食数》 1,179食

15. 介護保険事業

(1) 訪問介護

介護保険制度の指定居宅サービス事業所として、訪問介護員を派遣する業務を行いました。

- 要介護
 - 《利用件数》 延べ2,789件
 - 《利用時間》 3,420時間
- 予防介護 実績なし

(2) 狭山台地域包括支援センターの運営（市からの受託事業）

《相談件数》電話	1, 282件
来所	421件
訪問	812件
時間外電話	11件
時間外訪問	4件
《介護予防ケアプラン件数》直営	313件
委託	327件
委託先	134件
《自立支援地域ケア会議》	11回
《自立支援評価会議》	11回
《日常生活圏域会議》	10回
《その他》	
・出前講座	18回
・ミニ講座	58回
・ファイブコグ検査	2回
・ボランティア育成	21回
・地域住民団体交流	172件
・事例検討会（ケアマネ支援）	3回

16. 歳末たすけあい配分事業

(1) 生活困窮者緊急用生活費給付事業 11件 110,000円

生活困窮者自立支援事業の相談の中で既存の制度の狭間にある課題のため、生活困窮状態からの脱却を目指していても生活再建の道筋を立てられない者に対して、緊急用の生活費を給付することで、生活再建の道筋を立てました。

(2) 高校進学支援金給付事業 5校17名 510,000円

市内公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校等の進学が決定したもの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある者うち、学校長からの推薦を得られる者に対して、給付型の奨学金を交付しました。

(3) 地域支援事業（障害者団体・福祉施設等への助成）

2件 20,000円

年末年始に障害者団体等が行う諸活動を強化するとともに、それらを通じて住民への理解を深めるため、障害者団体等へ助成をしました。

(5) 民間保育施設助成事業 3件 63,000円

市内の保育施設で行う子育て支援、子育て相談等の推進を図るため、保育施設へ助成をしました。

17. 法外援護

公的保護に該当しないケースに対する援護を行いました。

交通費の援助 24件 12,000円

18. 災害援護

災害にあった世帯への見舞金の支給 実績なし

19. 援護資金の貸付

低所得世帯に対し、経済的自立を助長し、生活の安定を図るため、援護資金の貸付を行いました。

- (1) 援護資金貸付審査委員会 開催を要する案件がなかったため開催せず
- (2) 相談件数 151件
- (3) 貸付件数 53件 936,000円

20. 生活援護資金の貸付

一時的な生活上の資金を必要とする世帯に対して、生活の安定と生活意欲の助長を図るため、生活援護資金の貸付を行いました。

- (1) 相談件数 (援護資金の相談件数と重複)
- (2) 貸付件数 52件 252,000円

21. 生活福祉資金の貸付取扱い(埼玉県社会福祉協議会からの受託事業)

低所得世帯、障害者世帯並びに高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進のため、生活福祉資金の貸付を取り扱いました。

- (1) 相談件数 137件
- (2) 生活福祉資金 10件
生活福祉資金の貸付内訳
(緊急小口資金 8件、緊急小口資金(特例貸付) 2件)

2.2. 心配ごと相談所

住民のかかえる生活上の悩みごと、困りごとの解決に取り組むため、弁護士による法律関係の相談を行いました。

(1) 開設日

法律相談（月1回） 毎月第3金曜日

(2) 相談員

弁護士 1名

(3) 相談実績

相談事項	取扱件数
家族	4件
財産	18件
離婚	3件
医療・事故	2件
人権・法律	0件
詐欺・犯罪被害等	0件
近所トラブル	1件
その他	4件
合計	32件

2.3. 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常金銭管理サービス及び書類等の預かりサービスを行うことにより、地域で安心して生活を送ることができるよう支援しました。

《契約件数》 26件（新規4件、解約5件）

《生活支援員活動回数》 342回

《相談件数》 846件

《生活支援員等への研修》 2回

2.4. 法人成年後見事業（市からの一部受託事業）

「さやま成年後見センター」において、成年後見制度の普及啓発、法人後見の受任、権利擁護に関する総合相談や成年後見制度の申立て支援を実施し、認知症高齢者や知的障害者・精神障害者が地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

(1) 相談件数、受任件数等

《受任件数》	8件（後見類型5件、保佐類型2件、補助類型1件） （新規2件、終了2件）（累計受任件数 18件）
《後見支援員活動回数》	164回
《相談件数》	175件
《申立支援件数》	68件
《後見人支援件数》	18件

(2) さやま成年後見センター運営委員会（4回）

6月27日（報告事項のみ）

9月26日 1. 成年後見の申立てについて

12月25日（報告事項のみ）

2月 6日 1. 令和2年度事業計画（案）について

(3) 後見支援員への研修 3回

(4) 市民向け講演会

狭山市立中央公民館、狭山市障害者団体連絡会、NPO法人さやま後見ネットと成年後見制度に関する普及啓発のための講演会を共催しました。

《日 程》 8月18日（日）

《会 場》 中央公民館 第1ホール

《内 容》 「親なきあと」のお金の管理に使える制度と仕組み

《講 師》 渡部 伸 氏（行政書士）

《参加者》 76名

(5) 支援者向け研修会

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害者基幹相談支援センター、障害者相談支援事業所など、成年後見制度に関わる支援機関向けの研修会を開催しました。

《日 程》 5月11日（土）

《会 場》 市民交流センター 研修会

《内 容》 成年後見制度の申立てで必要となった「本人情報シート」を書こう！

《講 師》 齋藤 敏晴 氏（東京国際大学 教授）

《参加者》 29名

(6) 権利擁護法律相談

《開設日》毎月第1金曜日

《相談員》弁護士 1名

《相談実績》

相談事項	取扱件数
成年後見制度	3件
遺言・相続	5件
虐待・権利侵害	6件
金銭トラブル	3件
その他	10件
合計	27件

25. 生活困窮者自立支援事業等の生活困難者への総合相談

生活困難者への総合相談として、生活困窮者自立支援事業を中心に、特に経済的困窮者に対する相談を受け付け、自立更生のための支援を行いました。

(1) 生活困窮者自立支援事業（市からの受託事業）

① 相談件数

《新規相談》 376件（累計相談件数 2,430件）

《プラン作成》 140件

《住居確保給付金》 6件

《自立・就労件数》 61件

② 支援調整会議

《開催回数》 12回

《調整件数》 135件

③ 職員研修、職員ミーティング

《内部研修》 1回

《ケース会議》毎朝のミーティングの中で対応

(2) 無料職業紹介所の運営

《登録求職数》 6件

《登録求人数》 5件

《紹介件数》 6件

(3) 彩の国あんしんセーフティネット事業、衣類バンク事業への協力

《相談件数》 20件

《支援回数》 106回

(4) 生活支援物資の受け入れと活用

《寄附受入件数》 92件

《支援件数》 161件

(5) フードバンクとの連携

フードバンクネット西埼玉、フードバンクさやまと連携をし、生活困難者への一時的な食糧支援を実施しました。

《連絡会議》 4回

《活用件数》 22件

26. ふれあいサロンへの支援

身近な生活の場を拠点として、住民である当事者とボランティアが協働で企画し、内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動の相談、支援を行いました。

(1) 登録団体 47団体 (新規3団体)

(2) 登録研修会 3回 延べ12名

(3) 運営費助成 延べ81団体 1,012,912円

※4半期ごとの交付及び特別助成

(4) ふれあいサロン保険助成 44団体 延べ42,010名分

(5) 衛生講習会 1回開催 27名

27. コミュニティサロン協議会の運営

狭山市内の多機能サロン、コミュニティカフェ等のネットワーク管理と協議会の運営を行いました。

(1) 登録団体 67団体

(2) 定例会 1回

《日 程》 10月26日(土)

《会 場》 狭山市民会館 小ホール

《内 容》 「一人ぼっちのいない地域づくり」
生活支援体制整備事業フォーラム参加

《参加者》 15サロン 48名

28. 地域福祉活動団体への支援

(1) 地域福祉活動スタートアップ助成事業 3団体 600,000円

新たに設立された地域福祉活動団体への立ち上げ時の設備費用・運営費等や既存の団体が新たな活動を始める際の設備費用の助成を行いました。

(2) 地域福祉活動者研修助成事業 125名分 250,000円

地域福祉活動団体のリーダーに対する研修情報の提供をし、「第13回全国校区・小地域福祉活動サミットINさやま」の研修参加費を助成しました。

29. 福祉機器の貸出

(1) 車椅子 47件

(2) その他 13件

30. 人材育成

(1) 手話講習会(市からの受託事業)

手話奉仕員養成講習会(後期)(全25回)、手話通訳者養成講習会(通訳Ⅱ)(全32回)、手話通訳者養成講習会(通訳Ⅲ)(全11回)、手話講習会指導者研修会(全2回)を実施しました。

《開催日》 4月～3月

《会 場》 社会福祉会館

《参加者》 手話奉仕員養成講習会(後期) 18名

手話通訳者養成講習会(通訳Ⅱ) 7名

手話通訳者養成講習会(通訳Ⅲ) 7名

手話講習会指導者講習会 10名

(2) あいさポーター養成講座（市からの受託事業）

地域共生社会の実現を目的として、障害や障害者への理解を促進するための講座、講師の養成、企業・団体等の認定を行いました。

- あいさポーター研修
《開催回数》 22回
《新規さポーター数》 690名
- メッセージャー研修
《開催回数》 1回
《新規メッセージャー数》 10名
- キッズあいさポーター研修
《開催回数》 3回
《キッズさポーター数》 151名
- あいサポート企業・団体の認定 3件

(3) 社会福祉実習、職場体験学習等の受け入れ

福祉人材の育成のため、社会福祉士等の実習を受け入れました。

5月17日・5月28日（2日間）	西武文理大学	延べ19名
8月26日～9月11日（13日間）	NHK学園	1名
10月7日～10月23日（12日間）	NHK学園	1名
8月8日・8月14日（2日間）	狭山市経由の実習生	1名
10月21日～11月6日（13日間）	NHK学園	1名
12月2日～12月17日（12日間）	NHK学園	1名
1月25日～1月26日（2日間）	白梅学園大学	1名
	十文字学園女子大学	1名
2月3日・2月12日（2日間）	狭山市経由の実習生	1名
2月4日～2月13日（7日間）	白梅学園大学	1名
2月17日～2月26日（7日間）	十文字学園女子大学	1名

3.1. 福祉出前講座

地域福祉活動についての浸透を図るため、市民からの要望に応え、地域福祉活動に関する出前講座を実施しました。

- 《講座内容等》「社会福祉協議会」・「高齢者の金銭管理に使える制度と仕組みについて」等
- 《回数》 18回
- 《参加者》 延べ625名

3.2. 老人福祉センターの指定管理

(1) 老人福祉センターの運営・管理（市からの受託事業）

《利用状況》

施設	開所日数	利用件数	利用者数
宝 荘	230 日	13,173 件（団体 502 件、個人 12,671 件）	19,702 名
寿 荘	280 日	24,216 件（団体 598 件、個人 23,618 件）	30,241 名
不老荘	260 日	40,758 件（団体 493 件、個人 40,265 件）	46,758 名
合 計	770 日	78,147 件（団体 1,593 件、個人 76,554 件）	96,701 名

(2) 老人福祉センター自主事業

映写会、福祉・健康・教養講座、グラウンド・ゴルフ、作品展示会等を開催しました。

施設	事業数	参加者数
宝 荘	23 事業	8,191 名
寿 荘	24 事業	9,952 名
不老荘	26 事業	8,561 名
合 計	73 事業	26,704 名

(3) たまり場活動事業

参加者が自由に交流できる場所の提供を行いました。

施設	開所日	開所日数	利用者数
ひだまり（宝荘）	水曜日	37 日	1,183 名
こでまり（寿荘）	木曜日	46 日	685 名
ほのぼの空間（不老荘）	火曜日	39 日	697 名
合 計	—	122 日	2,565 名

(4) 健康相談事業

看護師による健康相談を行いました。

施設	回数	相談件数
宝 荘	38 回	1,313 件
寿 荘	46 回	1,988 件
不老荘	48 回	2,758 件
合 計	132 回	6,059 件

(5) 福祉何でも相談事業

コミュニティ・ソーシャル・ワーカーによる福祉何でも相談を行いました。

施設	回数	相談件数
宝 荘	9回	18件
寿 荘	10回	23件
不老荘	9回	15件
合 計	28回	56件

3.3. 社会福社会館の指定管理

(1) 社会福社会館の運営・管理（市からの受託事業）

《開所日数》 300日

《利用回数》 2,022回

《利用者数》 28,840名

3.4. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営委員会 1回

- 6月24日 1. 平成30年度事業報告について
2. 令和元年度事業計画について
3. ボランティアセンター登録グループへの助成について
- 3月23日 1. 令和2年度ボランティアセンター事業計画について
2. 令和元年度狭山市ボランティアセンター事業振り返りについて
3. 狭山市ボランティアセンターの在り方について

※2回目は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(2) ボランティアグループ代表者会議 1回

《開催日》 4月20日

- 《内 容》 1. ボランティア活動保険について
2. ボランティア活動助成金の申請について
3. 平成31年度事業計画について

《参加者》 21団体

(3) ボランティア活動への援助

ボランティアグループ活動費助成 7団体 663,200円

(4) ボランティア活動の需給調整

区 分	件数	回数	人数
障害者（児）関係	308 件	519 回	685 名
高齢者関係	771 件	1,433 回	2,339 名
その他	177 件	298 回	909 名
合 計	1,256 件	2,250 回	3,933 名

○登録団体 22 団体（新規登録0 団体）

○登録個人ボランティア 367 名

○新規登録ボランティア（個人） 39 名

(5) 関係機関との連携

関係機関（ボランティア連絡会・保健センター・地域包括支援センター・保健所等）との連絡調整

(6) ボランティアスクール

ボランティアの発掘、育成のため、ボランティアスクールを実施しました。

① あなたにもきっと見つかるボランティア講座

《開催日》 5月（前期）、11月（後期）

《会場》 社会福祉会館、福祉施設

《内容》 基礎講座、ボランティア体験、振り返り

《参加者》 延べ8名

② 災害ボランティア養成講座

《開催日》 7月27日（土）

《会場》 社会福祉会館

《内容》 HUG（避難所運営ゲーム）

《参加者》 40名

③ 精神障害を理解し支援する講座【新型コロナウイルス感染症の影響で中止】

《開催日》 2月～

《会場》 社会福祉会館

《参加者》 10名

④ 地域共生のための仲間づくり講座

・第1回

《開催日》 9月13日(金)
《内容》 美味しい珈琲の入れ方講座
《参加者》 18名

・第2回

《開催日》 12月3日(火)
《内容》 漬け物づくりで仲間づくり
《参加者》 17名

⑤ 世代間交流事業

・第1回

《開催日》 8月20日(火)
《会場》 社会福祉会館
《内容》 ボッチャ体験とキッズあいサポート
《参加者》 17名

・第2回

《開催日》 8月23日(金)
《会場》 入間野神社社務所(入曽)
《内容》 昔遊び、スイカ割り
《参加者》 64名

(7) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

《開催日》 8月31日(土)
《会場》 市民交流センター
《参加者》 72名

(8) 彩の国ボランティア体験プログラム

ボランティア活動プログラムを提供し、ボランティア活動へ取り組む機会を提供しました。

日程	メニュー数	参加者数
夏：7月～8月	43	39メニュー 延べ165名
秋：9月～11月	35	7メニュー 延べ15名
冬：12月～2月	24	4メニュー 延べ12名
合計	102	50メニュー 延べ192名

(9) 地区ボランティアセンターの設置

《開催日》	4月～3月（第1水曜日）
《会場》	鶉ノ木団地集会所
《参加者》	10回延べ220名
《相談件数》	108件

(10) ボランティア保険の取扱い及び補助

ボランティア活動が安心してできるようにボランティア保険を取り扱いました。

○ ボランティア保険加入取扱い件数

・ボランティア活動保険	2,480件
・ボランティア行事用保険	333件
・福祉サービス総合補償	10件
・送迎サービス補償	2件
・ふれあいサロン・社協行事傷害補償	73件

(11) ボランティア通信の発行

年4回（6月・10月・1月・3月）発行 各号900部

(12) 共学支援ボランティア養成講座

地域と学校が連携するためのきっかけを作り、学校を支援するボランティアの育成を図りました。

① 狭山特別支援学校会場

《開催日》	5月～7月（5回）
《参加者》	2名

② 所沢おおぞら特別支援学校会場

《開催日》	5月～6月（5回）
《参加者》	0名

35. 有償福祉サービスささえあい狭山

(1) ささえあい狭山運営委員会 4回

5月16日 1. 稼働実績について
2. 提供会員の確保について

9月17日 1. 稼働実績について
2. 提供会員の確保について

11月14日 1. 稼働実績について
2. 提供会員の確保について

2月13日 1. 稼働実績について
2. 提供会員の確保について
3. 令和2年度運営委員会について

※他に移送・交流促進・広報の各部会を実施

(2) 需給調整等

《 会 員 数 》 369名

(利用会員 306名、提供会員 52名、両方会員 11名)

《 活 動 件 数 》 7, 115件

《 稼 働 人 数 》 1, 100名

《サービス提供時間》 7, 282. 8時間

(3) 研修会

① 基礎研修 2回 延べ3名参加

② 交通安全教室 1回 13名参加

③ あいサポート研修 1回 11名参加

(4) ささえあいだよりの発行

年5回(概ね2~3か月に1度、必要に応じ不定期)発行 累計2, 500部

38. 狭山市との共催による地域福祉関係事業

(1) 地域のつながりと支え合いを考える集い

- 《日 程》 11月2日(土)
- 《会 場》 狭山消防署 講堂
- 《参加者》 46名
- 《テーマ》 誰もが住みたくなるまち さやま

(2) 地域のつながりと支え合いを考えるパネル展

- 《日 程》 5月13日(月)～5月24日(金)
- 《会 場》 市役所
- 《内 容》 災害とボランティア～私にできることは何か～

(3) 地区福祉講座(傾聴ボランティア養成講座)

・第1回

- 《日 程》 5月～6月(全10回)
- 《会 場》 社会福社会館
- 《参加者》 15名

・第2回

- 《日 程》 9月～11月(全10回)
- 《会 場》 社会福社会館
- 《参加者》 18名

(4) 地域福祉推進計画の進捗管理

○ 地域福祉推進市民会議の開催 3回

- 7月26日
 - 1. 地域福祉活動スタートアップ助成事業審査について
 - 2. 狭山市地域福祉推進計画の改定について
 - 3. 外出支援サービス普及検討会について
- 10月25日
 - 1. 狭山市地域福祉推進計画の平成30年度取組結果の評価について
 - 2. 地域福祉に関するアンケート調査の実施について
 - 3. 市民会議の公開について
 - 4. 外出支援サービス普及検討会について

- 2月21日
1. 地域福祉に関するアンケート調査中間報告について
 2. 狭山市地域福祉活動策定委員会設置要綱について
 3. 地域福祉活動スタートアップ助成事業の審査結果について
 4. 第4期狭山市地域福祉計画策定方針について
 5. 第4期地域福祉計画策定に伴う社会福祉審議会への臨時委員の選出について
 6. 外出支援サービス普及検討会について
 7. 地域のつながりと支え合いを考える集いの事業実績について
 8. 第13回全国校区・小地域福祉活動サミットINさやまの報告について
 9. 令和2年度会議予定(案)について

○ 市民調査等

① 市民アンケート調査

《対象》市民 1,989名

《回答率》40.6%

② 団体等アンケート調査

《対象》地域福祉活動団体 235団体

《回答率》68.1%

(5) 地域福祉推進団体のネットワーク化(有償福祉サービス団体連絡会、コミュニティサロン協議会、外出支援サービス普及検討会の事務局)

○有償福祉サービス団体連絡会 1回

○コミュニティサロン協議会 1回

○外出支援サービス普及検討会 3回

39. 収益事業

(1) 飲料水等販売手数料収入 331,481円

自動販売機設置場所：老人福祉センター3館(宝荘・寿荘・不老荘)

サンパーク奥富、教育センター、社会福祉会館

(2) 切手及び収入印紙、埼玉県収入証紙の販売手数料収入 282,278円

社会福祉会館での販売のほか、市役所及び会社等へ販売しました。

40. 災害支援

(1) 災害義援金 258,450円

埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

- 令和元年度台風第19号埼玉県災害義援金（埼玉県共同募金会） 243,530円
- 令和元年度台風第19号千葉県災害義援金（千葉県共同募金会） 4,848円
- 令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金（佐賀県共同募金会） 8,463円
- 平成30年7月豪雨災害義援金（中央共同募金会） 491円
- 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金（北海道共同募金会） 1,118円

(2) 災害ボランティアセンターへの職員派遣

- 台風19号に伴う川越市災害ボランティアセンターへの職員派遣
1名（10月21日～24日 計4日間）